

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

産 業 建 設 調 査 会 記 録

平成 28 年 8 月 10 日（水）
 現地視察後 全員協議会室
 8 時 50 分 ～ 12 時 11 分

【委 員】 笹田委員長、飛野副委員長
 串崎委員、布施委員、牛尾博美委員、原田委員、牛尾昭委員

【委員外】 足立、小川、柳楽、佐々木、森谷

【議長団】 議長

【執行部】

（産業経済部） 中村産業経済部長、田村産業経済部参事、来原産業経済部企画監、村武産業政策課長、
 竹中産業振興課長（兼ふるさと寄附推進室長）、佐々木広島市場開拓室長、
 川神農林振興課長（併農委事務局長）、佐々本農林振興課副参事、吉田水産振興課長、
 石田漁港活性化室長、岡本観光交流課長、倉井産業企画係長

（都市建設部） 下垣都市建設部長、河野建設企画課長、吉川建設整備課長、吉田地籍調査課長、
 坂田維持管理課長、佐々木建築住宅課長、西川建設庶務係長

（金城支所） 吉永金城支所長、畑金城支所産業建設課長

（旭支所） 田村旭支所長、今田旭支所産業建設課長

（弥栄支所） 細川弥栄支所長、後野弥栄支所産業建設課長

（三隅支所） 斎藤三隅支所長、永井三隅支所産業建設課長

【事務局】 鎌原書記

議 題

1. 執行部報告事項

- (1) 「BUY浜田運動」実施方針について
- (2) ふるさと寄附について
- (3) HamadaWoods 広葉樹活用プロジェクト連携協定について
- (4) 漁業別水揚げについて
- (5) 旭温泉水有効活用事業の進捗状況について
- (6) 公益財団法人ふるさと弥栄振興公社の運営状況について
- (7) 有限会社ゆうひパーク三隅の運営状況について（報告）
- (8) 市道路線等の現地視察について

(9) その他

2. その他

【議事の経過】

[8 時 50 分 開議（東分庁舎前駐車場）]

笹田委員長

おはようございます。

ただいま出席委員は7名で、全員出席ですので、直ちに本日の調査会を開催いたします。

それでは、委員の皆様、本日の調査会の流れ等についてご説明いたします。

本日の調査会では、これから10時00分頃まで、議題1の（8）市道路線等の現地視察を、「現地視察行程表」のとおり行い、市役所に戻って、10時00分より議会全員協議会室において調査会を再開し、報告・説明を受ける予定です。

以上ですが、委員の方から、何か質問等ありますか。（なし）

それでは、このまま現地へ向かいますので、よろしくをお願いします。

（2ヶ所現地視察）

[視察終了 9 時 50 分]

[帰庁後、9 時 58 分 再開]

笹田委員長

会議に入る前に森谷議員より委員外議員として、本日の議題の（5）について、発言を求められています。このことについて特別委員会で結論は得ましたが、今後議会運営委員会の方で諮っていただくことになっておりますので、本日は許可しないということによろしいでしょうか。

[「異議なし」 との声あり]

1. 執行部報告事項

（1）「BUY浜田運動」実施方針について

笹田委員長

執行部から説明をお願いします。

（以下、資料をもとに説明）

笹田委員長

この件について、委員から何かありますか。

布施委員

対象商品の定義の決定ですが、食料品に限ったということなのですが、3月の予算委員会では浜田で生産されたものについては地元商品として提示したいという答えがあったのですが、なぜ食料品に限ったのか、また、後の項目にあります財団の広葉樹を使った木製品も県産材であり地元の広葉樹ですが、なぜ対象に選ばれなかったのかお伺いします。

産業政策課長

スタート時点においては食料品から始めてその後、全商品を対象とした運動に拡大していこうと考えています。

布施委員

拡大していくのは分かるのですが、スタート時点であきらかに地元産材で、ましてや市役所のネームや課の案内看板に推進していこうとして使っています。今日の調査事項でも広葉樹を使って兵庫県企業と連携し、浜田市は応援していくということ謳っておきながら、次の段階でやりますというのは、それはちょっとおかしいのではと思っております。

木の生産会社はあまり多くないと思います。今から折衝すればシールを貼る、貼らない。ポスターを出す、出さないなど再度取り組む可能性はないのでしょうか。

産業政策課長

当面は食料品ということにさせていただいたのが、推進委員会で協議をした結果であります。しかしながら広葉樹の関係などの地元産材について今度あります推進委員会で協議をしていただこうと思います。

布施委員

ぜひともお願いします。先日、ロゴマークのチラシが全世帯に配られたと思います。この中の趣旨でBUY浜田運動とはということですが、私たちは説明を聞けば、地元産品を買って少しでも経済を潤さなければいけないということはよくわかります。でも文章で書いてあるとせつかくのBUY浜田運動の地域資源の活用イメージですが、多くの市民に説明しようとする、文字で説明するより、こういう図で説明したほうがわかりやすいと思います。これも予算委員会の際に同僚議員が指摘しております。文字だけではなくて目に訴えるもの運動の柱とすべきであるといわれ、そのとき委員も大事だということをおっしゃいます。イメージとして皆さんが買っていたものは地域経済にこういうふう循環しますよということをおっしゃるべきだと思います。再度10月にチラシを配布することをお聞きしておりますが、それまでにBUY浜田運動の意義というものをもう一度記載されるかお伺いいたします。

産業政策課長

イメージを通じた啓発活動は一番市民の方に理解していただけるものだと思います。10月までに啓発グッズを作成する予定にしております。その中にリーフレットを2,000部作成することにしておりますので、わかりやすいイメージを入れることを検討していきたいと思っております。

布施委員

ぜひともわかりやすいものにしていただきたいと思っております。

飛野委員

目玉事業の一つとして、また、地産地消の観点からしても大変いい事業だと思います。この事業を進めて行く上において、活動の目標というものがありました。当然成果の分析をしなければいけないと思っておりますが、ここに数値的に目標が載せられていなかったのですが、なぜでしょうか。

産業政策課長

成果分析ですが、検証というのが難しいと考えております。事業に参加していただいている企業が個々に売上額がいくら上がったとか、数値で求めるのは理解が得られないのではと思っております。国がやられる景気動向判断で業績がよくなった、悪くなったというやり方がありますが、そのやり方で皆さんにお聞きする程度はできるのではと思っております。それ以外で成果を示すということになると数値になると思っておりますが、その辺りの理解が得られるのであればそういうやり方もしたいと思っております。

飛野委員

別の観点からお聞きます。BUY浜田運動の参加者がいます。市民は消費者ですが、市内事業者、小売、生産、加工業者の現況をつかんでおられるでしょうか。

産業政策課長

小売業者にお願いをして取り組んでもらわないといけないのですが、これについては、推進委員会を構成しています。商工団体あるいは金融会など動員しまして、運動に参加していただけるよう、周知していきたい

いとおもいます。

笹田委員長 質問の趣旨と回答が違います。現状を把握しているかという話だと思
いますが。

産業政策課長 数値については、本日は持ち合わせていないのですが、量販店で約130
くらいあると把握しています。

飛野委員 目標数値ですが、現況をある程度掴んでおかないと、結果や成果を見
た時に「良かったのではないのでしょうか」で終わると思います。一生懸
命取り組んでいただいた方も市民の方もBUY浜田運動に取り組んでよかつ
たということにはならないのではないのでしょうか。これを進める上で数
字も含めて現況をしっかり掴んで取り組んでいただきたいと申し伝えて
おきます。

産業政策課長 結果を評価するための現況について、おっしゃるとおり把握に努めて
まいります。

串崎委員 構成員を見させていただきました。気になるのが、浜田市の事業なの
で市はこのようになるとは思いますが、県職員、合庁の担当者もおられ
ると思いますが、県にも説明する必要があるのではと思えます。

産業政策課長 この推進委員会のメンバーをまず最初にどういった構成でやるかと言
った際に、県民センターに打診しました。今回この委員には入らずオブ
ザーバーとして要所要所で参加させていただくとのことでした。

串崎委員 この前、岡山県へ視察研修するということでしたが、それは済みまし
たか。

産業政策課長 まだです。

串崎委員 遅いように思います。まず勉強してからではないですか。店舗に行っ
てコーナー設置のお願い等とありますが、地産地消の産直市はどのよう
に連携するんですか。

産業政策課長 産直市場についてはBUY浜田運動の中でも重要な位置づけ部分だと思っ
ています。推進員の中にJ Aさんも入っていただいているので、産直市
とも充分連携を取って行きたいと思えます。

牛尾昭委員 同僚議員から、成果効果調査報告の指摘がありました。もっと早く取
り組む事業だと思ったわけですが、運用は非常に難しいと思います。例
えば今、高齢者タクシーチケット半額補助が非常に喜ばれている。タク
シー業界も忙しくなっています。目に見える効果だと思います。それと
比較するのは難しいことですが、業者さんがこの事業によって喜ぶかど
うかが大事だと思います。買う方にインセンティブを乗せて特に地元産
品を買っていただかないと。タクシーチケットと同じ効果を求めないと。
良いサンプルがあるのだから同じような仕掛けをしていく必要があると
思います。

先日の総務文教調査会を傍聴しました。浜田市の高齢者が60才以上が1
万8千人くらいですか。人口の4割弱です。その方の年収はどうかとい
うと、200万以下が84%、120万以下が60%、78万以下が約40%です。そう
いう中で介護保険、国民健康保険を払わなくてはいけない。生活コストは
どんどん下がっている中でこういう運動をしかけていく。総合的に考
えていって地産地消をどう考えるかが大事です。その辺を考えて地元業
者に介入させるかがキーポイントだと思います。その辺まで考えないと、や

産業政策課長	<p>ってみて「良い感じ」程度では意味が無いと思います。</p> <p>インセンティブを乗せる所までまだ充分検討しつくしていないと思います。次回の推進委員会で充分検討したいと思います。数値化ですが、先ほどの答弁で非常に難しいとお答えしましたが、先進事例等を参考にしながら検討していきたいと思います。</p>
牛尾昭委員	<p>6番のスケジュールで言うと、この事業をすると一定のコストがかかるわけで、コスト以上の成果を出そうとすると、目に見える利点を打ち出さないと、60才を超えた方の年収ランクから言うと1円でも安いものを買わざるを得ない状況なので、そういう中で地元産品を買ってもらおうと思うと、仕掛けが必要だと思います。数値が難しいといわれるが、産直市だけをサンプルとして、生産者にターゲットを絞って、1年経った時にどうだったか。サンプル農家を絞って対前年がどうだったか調べれば出ると思います。普通なら1年かけて売るものを半年で売れたとか、そういう形で比較できると思います。せめてそのくらいはしていただかないと、決算委員会の時に事業の評価が出来ません。よろしくお願いします。</p>
産業経済部参事	<p>成果をどう検証するかについては、まずは協力していただける取り扱い店に聞き取り調査することから始めたいと思います。地元産品の販売額がどうだったか等。スタート地点では、あまり負担の無い部分で答えていただけるような物を作って数値を把握し、市民運動として発展していくよう取り組みたいと思います。また色々ご提案いただきながら考えていきたいと思います。</p>
牛尾昭委員	<p>この事業、僕らが指摘するのは簡単です。しかしどう成果を出すかは難しいものです。議会の知恵も聞いていただいて、この事業の成果が数年後に喜ばれるようにしていただきたいです。今の浜田市にとって成功させるべき事業だと思っています。</p>
牛尾博美委員	<p>一番思ったのは、成功するかしないかは、スケジュールで言うと、浜田に企業があり人が住む限り必要だと思います。市民をいかに巻き込むかが最大のポイントだと思います。今はまだ1の段階だと思います。これでスタートするのか、それとも市民にPRして、利点や楽しさを訴えるか。そこが一番問題だと思っているんですが、どうですか。</p>
産業経済部参事	<p>おっしゃるとおり、この事業を発展させていくには市民をいかに巻き込むかが最大テーマだと思っています。今すでに動いているものとしてはロゴマークの公募で、これも市民への広報になればと思っています。4の関連イベントにいくつか挙げています。イベントを利用しながらこの運動をPRしていきたい。またケーブルテレビ等の媒体を使って、10月には放送もしながら展開出来るように考えています。市民運動として拡大していくのが最重要テーマだと思っているので、力をいれていきたいです。</p>
牛尾博美委員	<p>市民あつての運動だと思います。ここに足りないのは、民間が全然組織に入っていない。町内会、商店街、市民団体が入っていません。そういう人たちも巻き込まないと。市が運動を奨めても物は一切売れていないというようでは意味がない。ゲーム感覚を取り入れたりすることも大事だと思います。もっと面白く浜田の産品を買って、それが引いては浜田の活性化に貢献するんだという意識に持っていくことをやって欲しい</p>

産業経済部参事	<p>と思います。方法はいくらでもあると思いますが、今出来る範囲の中で楽しみながらものを買う、そういう方向付けをしないと、スタートしてもそっぽを向かれるのはいかがかと思います。</p> <p>おっしゃるとおりです。欠けていることは、消費者側との連携だと認識しています。運動を推進するためにリーフレットも作りますが、ストーリーを示して、誰もが理解して取り組んでいただける運動にしたいと思います。</p>
牛尾博美委員	<p>早い話が、買ってもらえれば良い、しかも買った人が楽しんで。それをどうやるか。講釈はいらないです。それと、この運動の期限は考えていますか。</p>
産業政策課長 産業経済部参事	<p>まだ決めていません。期限は決まっています。</p> <p>この運動に終わりはないと思っています。続けることが地域活性化に繋がるとしています。</p>
牛尾博美委員	<p>終わりはないと思うんですよ。ふるさと納税はこれまでと違う切り口で地域が潤っています。BUY浜田運動はその地域版です。運動をどんどん広げていく、その手始めだと思っています。我々も協力するので、しっかり市民に根付かせて欲しいと思っています。期待しています。</p>
笹田委員長	<p>その他ありますか。</p> <p>(「なし」という声あり)</p> <p>ではこの件については以上とします。</p>

(2) ふるさと寄附について

笹田委員長 ふるさと寄附推進室長	<p>執行部から説明をお願いします。ふるさと寄附推進室長。</p> <p>(以下、資料をもとに説明)</p>
笹田委員長 原田委員	<p>この件について、委員から何かありますか。原田委員。</p> <p>今年入ってから低調だったのがだいぶ回復してきたとのことでした。これからどのように伸びるか分かりませんが、今の段階でどのような分析をなさっているのか。また部署が変わっていますので何か問題点があるのかどうか。特産品の種類はどのくらいか。その辺をお聞きしておきます。</p>
ふるさと寄附推進室長	<p>分析ですが、当初目標は上半期10億としていました。実際に今約3億程度なのでかなり低迷しています。ホームページ上で積極的にPRしています。今までの寄附者を中心にメルマガ等で寄附を募る活動をしていますので、かなり上がっていくと思っています。</p> <p>今113の事業者に参加してもらっていますが、商品数300程度になっています。</p>
笹田委員長	<p>財政から産業経済部に上がってきました。課題はありますが、実際に事業者まわり、関西、関東を産業振興課とセットでものごとの話をしています。うまく使えば、産業振興しながら事業者の紹介、浜田市PRに繋がっていると思っています。</p> <p>その他。</p> <p>(「なし」という声あり)</p> <p>ではこの件については以上とします。</p>

(3) HamadaWoods広葉樹活用プロジェクト連携協定について

- 笹田委員長 執行部から説明をお願いします。農林振興課長。
- 農林振興課長 (以下、資料をもとに説明)
- 笹田委員長 この件について、委員から何かありますか。布施委員。
- 布施委員 20年たって広葉樹のブランド化に取り組むとのこと。私は議員になる前に山村振興財団の木工の販売の別会社に居てよく知っています。その頃から広葉樹の重要性を訴えてきました。広葉樹は温かみのある木目で日本に合ったものと思います。今まで作る人が居ませんでした。広葉樹は加工が難しく、なかなか製品化出来ない。商品が出来ても売れなければ意味がありません。ニーズを調べてやっていただきたいです。それと木育として学校給食の器や箸に使うことも出来ると思います。そういう提案はありませんか。
- 農林振興課長 販売ルートは、オークビレッジさんが掴んでおられます。100パーセントに近い態勢で売るとおっしゃっています。学校給食の食器ですが、まだ職人さんがおられないことと、単価が高くなるので、モデルとして小規模校に入れることは出来ると思いますが、また教育委員会と話していきたいと思います。作成の財源については農林で国の補助事業を検討して実現していきたいと思います。
- 布施委員 広葉樹を使うことで森林面積の6割程度を整理することに使うことで木育出来ると思います。また、今海を活用した教育を教育委員会がやっていると思いますが、是非、山と海の連携を訴えていってほしいと思います。
- 農林振興課長 海を育てる活動ですが、豊かな海作り大会の前年から猟師さんに当時浜田ダムの上流で木を植えました。その後も自治区を回って木を植える作業を続けています。ただ、それは子どもたちがイベントとして植えるものだから面積は大きくありません。しかしそれも木育として続けています。将来にわたって続けていきたいと思っています。
- 飛野委員 全国でも珍しい事業だと聞いています。浜田市における広葉樹の種類と構成はどのようになっていますか。
- 農林振興課長 どの種類がどの面積かは把握できていません。ただ、大変多くの種類があるようです。それだけ有望な山が眠っていると言えます。
- 飛野委員 心配になって某県の例を調べました。熊の目撃情報は凶作か豊作かが非常に強く影響します。念のため頭に入れておいてください。熊対策の大きなものに植林があることを覚えておいてください。
- 串崎委員 バックアップの浜田市の考え方を伺いたします。広葉樹はHamadaWoodsのブランドとして売れて成功すれば大変いいことだと思います。流れからいけばオークビレッジの名前を借りて下請けとして西部山村振興財団が作ったものを販売していくという話を聞いたのですが、私としてはうれしくないのですが。
- 農林振興課長 下請的な事業として財団が木工品を作る、床材を作るということは、私の耳には入っていません。一緒に作るって売って行く話しか入っていません。
- 串崎委員 ならば良いです。こちらはまだ素人なので、市も関係して子会社になったらあまり良くないと思っています。申し添えておきます。

農林振興課長

ご心配の件ですが、財団とオークビレッジがひと月かふた月に1度来ます。その場に私も同席させてもらっています。基本的に会議協議の場には農林が出ていくつもりですので、そういうことがないように進めていきます。

原田委員

非常に良いことだと思います。市民の方もかなり、山が今荒れている状況なので、スムーズに進むなら良いことだと思います。山に眠る宝という表現もありましたが、実際どうなっているかと言うと、チップやバイオマスの材料に出ています。こういった連携の中でそれを即変えられるのか、私は疑問に思っています。高く売れる製品に変えることは必要だと思いますが、1割程度しか製材に出せていないものをどうするのか。需要がどうなっているのか我々もさっぱり分かりません。市場がどういうものを求めているのか。年間でだいたい何千万くらいを予定するのか分かっていませんし、何も分かりません。具体的にどのように進めようとされているのか目に見えません。見えるように市民に公表していただかないと、良い声ばかり聞こえてきてもイメージが湧きません。結構造林もあるので、その辺も加味してもらわないと、製品化されてどんどん売れるなら良いですが。

農林振興課長

チップやバイオマス材を完全に木工に切り替えるというものではありません。造林した部分はそれとして継続しながら。眠っている木で新たな産業を起こそうという話です。来年度どのくらいの収益をあげるのかも、今はまだ試作品段階なので、将来試算はもう少しお待ちいただいて固まったらお知らせします。

見える化ですが、生まれた子どもたちにおもちゃを配る取組があります。出来たおもちゃを保育園・幼稚園に配って広報に載せてプロジェクト報告をするのも見える化ではないかと思います。財団やオークビレッジともそう話しています。いずれにせよ市民への見える化を取り組んでいきたいと思います。

原田委員

話を聞くと市場調査もしていないようで、市民も納得しませんよ。市場がこれだけ求めているのだから事業を進めようということなら分かりますが、これからやろうというのなら生ぬるいです。作っても売れるのか売れないのか分からないものを作ると言われても納得いきません。森林組合やその他事業所もありますので。市民の受入が難しいのではないかと思います。説得力のある進め方をお願いします。

笹田委員長

その他ありますか。

(「なし」という声あり)

では休憩を取りたいと思います。11時20分再開です。

[11 時 11 分 休憩]

[11 時 19 分 再開]

(4) 漁業別水揚げについて

笹田委員長

執行部から説明をお願いします。漁港活性化室長。

漁港活性化室長

(以下、資料をもとに説明)

笹田委員長

この件について、委員から何かありますか。

(「なし」という声あり)
ではこの件については以上とします。

(5) 旭温泉水有効活用事業の進捗状況について

笹田委員長	執行部から説明をお願いします。旭支所産業建設課長。
旭産業建設課長	(以下、資料をもとに説明)
笹田委員長	この件について、委員から何かありますか。布施委員。
布施委員	事業計画概要に載っていますが、飽くまで温泉水を活用したスッポンの飼育と養殖に限るんですね。健康食品等の製造を考えているということですが、スッポンだけでなく温泉水の活用や販売等も入っているのでしょうか。どのようにこの事業計画の中で認可されるのでしょうか。
旭産業建設課長	天然スッポンが一番の売りです。販売は活スッポンです。一方で養殖も事業計画に入っていますが、そちらは粉末にしたりスッポンカレー、アイスクリーム等の加工事業も考えておられます。
布施委員	飽くまでスッポンということですね。あさひ荘は指定管理の指定を受けて色々と、管理者を決めてやっていくと聞いています。事業計画の中で、温泉水を活用したものの事業計画を入れたりすることがあるとお聞きしています。バッティングの可能性はないのでしょうか。
旭産業建設課長	あさひ荘の指定管理に入るということは、本人さんは考えておられません。
串崎委員	参考までに伺います。成功すれば年間売上どのくらいになりますか。一番失敗に繋がる懸念部分は何ですか。
旭産業建設課長	飽くまで企業者から出された資料、事業計画で説明させていただきます。 (以下、資料をもとに説明)
牛尾昭委員	絶対失敗しないとはもちろん言えませんが、支援しつつ見守りたいと思います。
旭産業建設課長	ようやく実現するので楽しみにしています。蓄養・養殖のノウハウはどのように、旭支所では認識されていますか。
牛尾昭委員	岡口さんには師匠がおられて、養殖・蓄養について教えていただいたそうです。我々も拝見したところ、共食いを防ぐようネットがかけてあったりしました。飼育・養殖についてはかなり知識を持っておられると認識しています。
旭産業建設課長	販路は既にお持ちなんだろうと思います。天然スッポンが売りとのことですが、温泉水を使った事業なので温泉という言葉が入った方が良いのかなと。稚魚はどう入手するのでしょうか。
牛尾昭委員	島根県産の天然スッポンに拘っているのも、特に雲南にスッポン釣りの方が何人かおられて、捕獲次第連絡が入るようになっています。そこで仕入れにいけます。
旭産業建設課長	漁師さんにお任せして調達するということですが、天然スッポン同士で交配をする。そういう所までやっていかないと、釣ったから買ってこれということでは限定的かなと。調達価格にも影響を受けます。サイクルを作る必要があると思いますが、岡口さんはどのようにお考えですか。
旭産業建設課長	調達が間に合わなくなることも考えられます。卵から養殖も考えてお

られるようです。需要と供給のバランスもあります。温泉水を利用するメリットは、30度くらいのお湯で育てると冬眠しないことです。かなり成長スピードが早くなるそうですのでその辺も考えられておられます。

牛尾昭委員

ぜひ、開所式には産業建設委員会のメンバーを呼んでください。30度のお湯はクルマエビの養殖にも適しています。岡山理大の山本さんと協力をして1年半かかるすっぽんが半年くらいで生産できるとなると利益率が上がると思いますので、それもあわせて何とか実現させていただきたいと思います。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(6) 公益財団法人ふるさと弥栄振興公社の運営状況について

笹田委員長

執行部から説明をお願いします。弥栄支所産業建設課長。

弥栄産業建設課長

(以下、資料をもとに説明)

笹田委員長

この件について、委員から何かありますか。牛尾昭委員。

牛尾昭委員

今年は指定管理料も少し増えたとのことで。増えなければ400万程度の赤字。理由は色々言われましたが。弥栄になくってはならない場所です。地元食材を使うと原価率が上がる一面もあります。地元産品を使いながらなおかつ赤字を狭めるのが課題だと思います。猪鍋セットが好調だとありますが、財団のふるさと寄附へのラインナップはどのくらいありますか。

弥栄産業建設課長

どぶろくセット、特産品セットがあります。

牛尾昭委員

例えば猪鍋とどぶろくセットはありますか。

弥栄産業建設課長

今の所、そのセットはありません。

牛尾昭委員

消費者の目先を変えるテクニックが必要だと思います。猪が売れるならどぶろくとセットにするとか。財団の工夫というか。消費者は飽きてくるので絶えず目新しいものを。弥栄だけのものではなくて、魚と猪のコラボとか、のどぐろと干物とどぶろくのセットとか知恵を出されるべきだと思います。意見なのでこれ以上言いません。是非ご検討ください。

弥栄産業建設課長

ありがとうございます。おっしゃるとおりです。参考にさせていただきます。

原田委員

原価管理の不徹底から原価率が上昇し収益に大きく影響したことにより赤字決算になったということですが、具体的にはどういうことだったんでしょうか。

弥栄産業建設課長

食材は出来るだけ地元の産直市から買うようにしていますが、お客が来なくて廃棄したり、宴会、仕出しで出来るだけ多く利用していただくために1品多くしたりして価格よりも量を増やして顧客増を狙ったりが減少した。余分な材料を抱えたり費用がかかりました。

笹田委員長

その他ありますか。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(7) 有限会社ゆうひパーク三隅の運営状況について (報告)

笹田委員長

執行部から説明をお願いします。三隅支所産業建設課長。

三隅産業建設課長 笹田委員長 串崎委員	(以下、資料をもとに説明) この件について、委員から何かありますか。串崎委員。 久しぶりの黒字、大変な努力の結果だろうと評価します。前期基本計画が6年ですかね、それを見るとゆうひパーク三隅のことが全く触れられていませんでした。考え方はどうなっていましたか。
三隅産業建設課長 串崎委員	関わりを深く理解しておらず申し訳ありません。特産品展示販売所ですし観光施設ですので、今後も継続していくつもりです。これまで同様に組合が継続できるよう頑張っていきたいです。 言葉は分かりますが、他所の地区と比べて、これが書いてないというのは不思議です。今後検討していただきたいと思います。
三隅産業建設課長 牛尾昭委員	分かりました。検討させていただきます。 対前年比10パーセントくらい売上を延ばされたのは、かなり努力されたんだろうと思います。各部門別に伸びていますが、10パーセントも回復した肝は何ですか。
三隅産業建設課長 牛尾昭委員	石田新社長になって営業努力された、レストランも味が良いと評判を聞いています。特にレストラン部門が伸びているのが特に大きい部分だと思います。 地域おこし協力隊のお嬢さんが行かれているんですね。フェイスブックをみたら赤てんの食べさせ方を工夫されていました。新しい人が入ると変わるというモデルだと思っています。三隅道路の影響が心配です。ここはふるさと納税のラインナップはお持ちですか。
三隅産業建設課長 牛尾昭委員	道の駅としての商品は持っていません。和紙等の特産品販売はあるでしょうが、道の駅としてはありません。 ふるさと寄附のラインナップを、あそこから見る夕陽は素晴らしいですから、三隅の特産品を1つ作って売上を伸ばさなければ。新規事業として取り組まれるべきだと思うので、是非ご検討いただいて、三隅道路が開通しても売上が落ちなかったという報告を聞きたいと思います。
三隅産業建設課長 三隅支所長	夕陽やJRと日本海の景色は最大の売りだと思っています。先日8月5日に国交省との協議が整い、看板の裏を使って夏列車という写真を使わせていただきました。情報発信も大切なので。ふるさと寄附についても検討し、広く情報発信しながら経営努力したいと思います。 地域おこし協力隊について触れていただきましたが、彼女の着任が7月なので、今回の結果には反映されていません。社長との間柄も非常に良いようですので、大いに期待して、自分のやりたいことをやっていただきたいと思います。
	(「なし」という声あり) ではこの件については以上とします。

(8) 市道路線等の現地視察について

笹田委員長 | この件については午前中に終わっています。

(9) その他

J T跡地活用プロポーザルの実施スケジュールについて

笹田委員長 | 建設企画課長

建設企画課長
笹田委員長

(以下、資料をもとに説明)
説明が終わりました。委員から質疑はありますか。
(「なし」という声あり)
では続いて、

新嘗祭献穀田について

笹田委員長
弥栄産業建設課長
笹田委員長

弥栄産業建設課長。
(以下、資料をもとに説明)
説明が終わりました。委員から質疑はありますか。
(「なし」という声あり)
では続いて、

あさひ荘について

旭産業建設課長

あさひ荘指定管理者の公募について報告いたします。来年29年4月からの指定管理者を本年6月からの前期の公募により募集しておりましたが、1社の応募があったものの7月25日の指定管理者選定委員会において審査の結果、評価点が基準に満たなかったため候補者の選定にかかる判断が難しいという内容で7月27日付けの答申を受けました。これを踏まえ検討の結果、旭支所としての判断において残念ですが不採用としその旨を応募者に通知しました。今後につきまして9月1日より募集を開始します後期の指定管理者の公募の再募集を検討しています。

笹田委員長
牛尾昭委員

牛尾昭委員。
指定管理はこの委員会所管ではないので、意見だけ申し上げます。なんでも公募にすれば良いというものではないです。しかるべき方に話をしながら指名でも良いと思います。公平性といって門戸を開けすぎて、成果がでないということもあるので部の中でも、一度議論すべきではないかと思っております。

旭産業建設課長
布施委員

意見として承っておきます。
1社しか応募がなかったとのことで、あさひ荘の魅力がないのではないかと。あさひ温泉として温泉の魅力はあったとしても、経営の魅力がないのではないかと思います。後期をやってもこれが10社くるような期待は出来ないと思います。合格ラインと不採用のラインを明確にして、相手先に納得はされなくても判断基準をはっきり示すことが必要だと思います。一例としてしっかり検討していただきたいと思います。考え方をうかがいます。

旭産業建設課長

答申の内容については、開示請求という形で行革推進課から出すことになっていますので、全く中身が分からないということはないと思いますが、言われたことをよく踏まえてやっていきたいと思います。

布施委員

地域おこしのために人の力を借りるのが大前提だと思います。相乗効果で是非取り組んでいただきたいと思います。

その他

串崎委員

前、広島開拓室のことを文章というか、庁議報告等するような話を聞いていましたが、その後全く報告等がありません。どのような状況でしょうか。

広島市場開拓室長

平成27年度につきましては、6月の産業建設委員会で報告させていただいておりますが、28年度の間接報告については少し検討させていただき

串崎委員

ます。

状況が全く分かりませんので、なるべく報告していただきたいと思
います。

笹田委員長

執行部から他にありますか。

(「ありません」という声あり)

では全員協議会に提出すべきもの、資料配布のみとすべきもの、提出
の必要がないものの決定をしたいと思います。

- (1) 説明あり
- (2) 資料のみ
- (3) 資料のみ
- (4) 資料のみ
- (5) 説明あり
- (6) 資料のみ
- (7) 資料のみ
- (8) 資料のみ

よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

はい。以上で議題1は終わりたいと思います。

2. その他

笹田委員長

その他で何かありますか。委員の皆さん何かありますか。

(「なし」という声あり)

執行部の皆さん何かありますか。

(「ありません」という声あり)

それでは調査会を終わりたいと思います。お疲れ様でした。

《 執行部退席 》

[12 時 11 分 閉議]

浜田市議会調査会規程第6条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

産業建設委員長 笹田 卓 印